



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

国連防災世界会議 防災・減災先進国を仙台から世界へアピール!

早いもので東日本大震災からもう丸4年が過ぎようとしています。高台移転は9割、災害公営住宅は8割の事業がスタートしているなど、着実に復興への槌音が聞こえる一方で、未だに23万人もの被災者が仮設住宅などで不自由な暮らしを強いられており、住宅再建や復興まちづくりをさらに加速させねばなりません。

こうした中、3月14日(土)～18日(水)まで地元仙台において、天皇皇后両陛下をお迎えして、第3回国連防災世界会議が開催されます。これは国際的な防災戦略を策定する国連主催の会議で、第1回世界会議は1994年に横浜市で、第2回世界会議は2005年に兵庫県神戸市で開催され、国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組(HFA)」が策定されました。第3回世界会議は2015年以降の新たな国際防災の枠組を策定します。各国首脳だけでも約24か国、閣僚クラスが51か国、全体で4万人以上が参加するなど、これまでに仙台で開催された国際会議の中で最大規模になります。

この会議の意義や目的は、①兵庫行動枠組(HFA)の後継となる新たな国際防災の枠組の策定、②幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信、③東日本大震災からの復興の発信及び被災地の振興であり、日本は、防災・減災の先進国として、積極的に世界に貢献していかねばなりません。

仙台国際センターを主会場に開かれる「本体会議」の他にも、仙台市内の様々な施設やホテルで一般公開される「パブリック・フォーラム」などたくさんの行事がありますので、ホームページなどでチェックして頂き、是非ご参加下さい。

世界中から仙台にお出で頂いた皆さんには、会議への出席に留まらず、被災地の現場はもちろん、観光地や温泉など仙台・東北の魅力を体感して頂くとともに、その魅力や復興の状況などの情報を国内外に発信することにより、大きな経済波及効果、交流人口の拡大が期待され、東北の復興の後押しに繋がっていききたいものです。



衆議院議員 秋葉賢也
外交部会長

秋葉賢也外交部会長の活動報告



秋葉賢也・自民党外交部会長が取材を受けた様子が、2月10日テレビ朝日系『報道ステーション』で放映されました。

今回の取材では、約11年ぶりに見直され閣議決定された「開発協力大綱」について自民党内の意見取りまとめの主役となった秋葉外交部会長は、新たな開発協力が「軍事活動そのものではなく、後方支援が中心にあり、紛争そのものに拠出することはない」と説明致しました。

秋葉外交部会長も参加し、一緒に防災・復興について考えます!

いよいよ『第3回国連防災会議 in 仙台』スタート!

14日から18日まで、仙台市で『第3回国連防災会議』が開催されます。国連加盟国の代表が世界の防災戦略について話し合うだけでなく、関連イベントでは、研究者や市民の皆さんが参加し、防災、復興をテーマに東日本大震災の経験や教訓を世界に向けて発信し共に考える機会が持てます!

シリアにおける 邦人テロに対する非難決議
(第189国会決議第1号)の一部抜粋
今般、シリアにおいて、一S一Lが二名の邦人に対し非道、卑劣極まりないテロ行為を行ったことを強く非難する。
このようなテロ行為は、いかなる理由や目的によっても正当化されないものである。我が国及び我が国国民は、テロリズムを断固として非難するとともに、決してテロを許さない姿勢を今後も堅持することをここに表明する。

秋葉外交部会長が中心となって自民党案をとりまとめました。



平成27年度 外務省予算に関する 大臣折衝報告会



外務省で行われた「大臣折衝報告会」に出席した秋葉外交部会長は、「地球儀を俯瞰する外交」戦略の実施に必要な予算を大臣折衝でほぼ満額獲得した岸田外務大臣に敬意を表しました。



秋葉外交部会長に聞く! 「開発協力大綱」について

2月10日に閣議決定された「開発協力大綱」は、2004年に改定された「ODA(政府開発援助)大綱」の約11年ぶりの見直しです。そこで自民党内の意見を取りまとめた秋葉外交部会長に質問しました。

Q1

「政府開発援助(ODA)」から「開発協力」に名称が変わりましたが、開発協力って何ですか。

秋葉外交部会長

開発協力とは、「開発途上地域の開発を主たる目的とする政府及び政府関係機関による国際協力活動」をいい、ここでいう「開発」とは、狭義の開発のみならず、平和構築やガバナンス、基本的人権の推進、人道支援等を含む広い意味での「開発」をさしています。

多額の民間資金が途上国に流れ、企業、地方自治体、非政府組織をはじめとする様々な主体がグローバルな活動に携わっている今日の国際社会における開発課題に対処できるよう、名称も従来の「政府開発援助」から、「開発協力」に改めました。

Q2

2004年の「ODA大綱」には援助実施の原則として、①環境と開発の両立、②軍事的用途及び国際紛争助長への使用の回避、③軍事支出・大量破壊兵器等に十分な注意、④民主化・人権等に十分な注意が規定されていましたが、「開発協力大綱」ではどのような原則が規定されていますか?

秋葉外交部会長

新たな「開発協力大綱」では、開発協力の適正性確保のための原則を規定しています。すなわち、①民主化の定着、法の支配及び基本的人権の保障に係る状況、②軍事的用途及び国際紛争助長への使用の回避、③軍事支出、大量破壊兵器・ミサイルの開発製造、武器の輸入等の状況、④開発に伴う環境・気候変動への影響、⑤公正性の確保・社会的弱者への配慮、⑥女性の参画の促進、⑦不正腐敗の防止、⑧開発協力関係者の安全配慮の8原則で、これら原則の下、開発協力の適正性確保を図って参ります。

秋葉外交部会長が

党内の意見を取りまとめた条約案・法案リスト

- ①在外公館の名称及び在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の改正案
- ②緑の気候基金への拠出・措置法案
- ③経済上の連携に関する日本・モンゴル協定
- ④世界貿易機構設立協定を改正する議定書
- ⑤水銀に関する水俣条約
- ⑥特許法条約
- ⑦商標法に関するシンガポール条約
- ⑧2007年の国際コーヒー協定
- ⑨投資促進と保護に関する日本・カザフスタン共和国協定
- ⑩貿易自由化、促進・保護に関する日本・ウルグア共和国協定
- ⑪所得の二重課税回避と脱税防止に関する日本・カタール協定
- ⑫受刑者移送に関する日本・イラン条約



地元の声を 国政へ!

3月に地元・仙台で開催される「第3回国連防災世界会議」を成功させると共に、2016年に日本国内で開催が予定されている主要国首脳会議(サミット)の仙台招致の実現に向け、国政で取り組んで参ります。(通常国会召集日、国会議事堂正面にて。)

東日本大震災から4年 ～復興の進捗状況～

	阪神大震災	東日本大震災
規模	M7.3	M9.0
死者	6435人	1.9万人
行方不明者	3人	2633人
負傷者	4万3792人	6219人
全壊家屋	10万4906棟	12万7361棟
半壊家屋	14万4274棟	27万3268棟
被害額(推計)	9.9兆円	16.9兆円
同対名目GDP比	約2%	約4%

3月11日には、未曾有の被害を生じさせた東日本大震災から丸4年が経ち、5年目に入ります。被災地選出の国会議員として、秋葉代議士は、復興副大臣や衆議院東日本大震災復興特別委員長を務め、被災地の復興に向け全力で取り組んで参りました。そこで今月号では、宮城県の復興の進捗状況についてご報告致します。

主なインフラの復旧状況

- ◎道路施設(県管理分の通行規制)全面通行止箇所137か所
→復旧率**100%**(全面通行止解除箇所137か所)
- ◎鉄道(震災前県内在来線:約457.1km)
→復旧率**81%**(運行再開延長:約371.7km)
- ◎仙台空港乗降客数
(H22.10~12 国際線68,271人、国内線619,493人)
→復旧率 **国際線 約63%、国内線 約131%**
(H26.10~12 国際線43,212人、国内線811,845人)

生活・衛生分野の復旧

- ◎災害公営住宅(H27.1.31)
→着手 **約87%** ・ 完成 **約17%**
- ◎防災集団移転促進事業(H27.1.31)
→造成工事着手等地區 **100%**
- ◎土地区画整理事業(H27.1.31)
→事業認可 **約82%**、 工事着手 **約74%**
- ◎津波復興拠点整備事業(H27.1.31)
→事業認可 **約92%**、 工事着手 **約67%**
- ◎災害廃棄物(沿岸15市町の災害廃棄物推計量 約1160万トン)
→進捗率 **100%**(処理・処分量 H26/3/31)

被災者の健康支援への取組

- ①仮設住宅の見守りや生活相談を行う「サポートセンター」
→沿岸**13市町60箇所**に設置(H26.12.1)
- ②県民の心のケアを行う「みやぎ心のケアセンター」を設置
→相談支援**13164件**、電話相談**4300件**
(平成24年4月~26年11月)



復興の加速化を図るべく、風評被害対策や住宅再建支援策等を実現して参ります。

仙台国際センター展示棟 完成記念式典・内覧会

3月に開催の国連防災世界会議で使用される予定になっている「仙台国際センター展示棟」の完成記念式典・内覧会が開催され、秋葉代議士も出席致しました。既存の施設を「会議棟」、今回完成した施設を「展示棟」として、6千人規模の大規模会議が行える施設です。



会議室や応接室見学する秋葉代議士



仙台駅から地下鉄で4分とアクセス面で恵まれた場所に在り、また屋根つき連絡通路が設置され、雨天時でも最寄駅から傘をささずに施設に入れるという利便性も優れています。

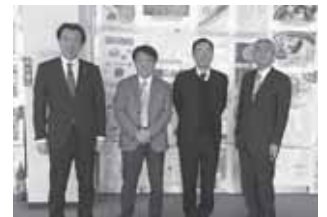


面積2000m²の展示室1と面積1000m²の展示室2、更に4つの会議室によって構成される展示棟の正面で。

地元での多数の大規模会議の開催は、東日本大震災からの復興の加速化を進める力を有しており、被災地の新たなシンボルとして大きな役割を果たすことが期待されます。

ILCを東北へ

超大型加速器「国際リニアコライダー(ILC)」の東北への誘致を実現するために、秋葉代議士は、東北経済連合会の高玉専務理事、東北経済連合会東京事務所の大江所長、そして東北大学大学院理学研究科の山本教授にご案内頂き、建設候補地である北上山地を視察致しました。



2010年代後半に建設予定となっているILC建設地の条件である、①振動が少なく活断層のない安定した岩盤があること、②地上とのアクセス効率が良いこと、③周辺市街地や中核都市との連携性がよいこと、④交通アクセスが良好であること、が満たされる東北(北上山地)への誘致に向け、全力で取り組んで参ります。

【活動ブログ】www.akiba21.net 【ツイッター】@akibakenya 【フェイスブック】秋葉賢也 検索

タウンミーティング

(国政報告会)

- 3月20日(金) 泉区 19時 @ 加茂市民センター
- 3月23日(月) 泉区 19時 @ 鶴が丘コミュニティセンター
- 3月27日(金) 宮城野区 19時 @ 榴ヶ岡市民センター
- 3月28日(土) 若林区 19時 @ 連坊コミュニティセンター 別館 (木ノ下コミュニティセンター)

自民党の秋葉賢也衆院議員(宮城2区)が、厚生労働副大臣の経験を活かした新著「厚生労働省 改造論」(イースト新書) Ⅱ 写真Ⅱ を出版した。

秋葉氏は2012年12月、13年9月、厚労兼復興副大臣を務めた。省庁中で最大の残業時間、所管業務の多さに見合わない職員数を実感し、「ブラック企業を取り締まる官庁が最悪のブラック企業化している」な

「厚労省 再分割を」

秋葉元副大臣「改造論」出版

どの刺激的な文章が並ぶ。厚労省の現状を「目の前の仕事に忙殺され、中長期の課題や制度設計など政策官庁の役割を効果的に発揮し得ない」と指摘。01年の省庁再編で旧厚生、旧労働の2省統合で誕生した厚労省を再分割し、労働分野を経済産業省に、厚生分野のうち子育て部門を文部科学省に移管する私案を示している。

秋葉氏は「厚労副大臣を

『サブフォー』達成! 東京マラソン2015

2月22日、都庁庁舎前からスタートした東京マラソン2015で、秋葉代議士は、無事、走行距離42.195Kmを、4時間を切るタイム(「いわゆる『サブフォー』」)で完走することができました。

このマラソンで、住宅再建や復興まちづくりの加速を誓いながら、参道の皆さんの温かい応援に支えられ、無事、3時間54分38秒で完走致しました。ボランティアの皆さん、沿道で応援して下さいました皆さんに心から御礼申し上げます。「仙台国際ハーフマラソンでも『フル』を実現したい!」と、意気込みを表していました。

地点名 Point	スプリット (ネットタイム) Split (Net Time)	ラップ Lap	通過時刻 Time
5km	00:29:10 (0:25:31)	0:25:31	09:39:11
10km	00:54:07 (0:50:28)	0:24:57	10:04:08
15km	01:19:07 (1:15:28)	0:25:00	10:29:08
20km	01:44:50 (1:41:11)	0:25:43	10:54:51
25km	02:12:00 (2:08:21)	0:27:10	11:22:01
30km	02:41:11 (2:37:32)	0:29:11	11:51:12
35km	03:12:29 (3:08:50)	0:31:18	12:22:30
40km	03:44:19 (3:40:40)	0:31:50	12:54:20
Finish	03:58:17 (3:54:38)	0:13:58	13:08:18



経験し、国民皆保険・皆年再編が必要だ」と話している。金など日本の社会保障制度の素晴らしさを痛感した。帯には増田寛也元総務相が推薦文を寄せた。861に引き継ぐためには、組織円(税別)。



インターネットTV「超人大陸」

インターネットTV「超人大陸」に出演した秋葉賢也代議士は、2月10日発売となった新著「厚生労働省改造論(イースト新書)」をPRしました! こちらのアドレスからご覧いただけます。
http://www.choujintairiku.com/akiba3.html



多くの皆様にご購読いただき心より感謝申し上げます。全国の主要書店やアマゾン等のインターネットでもお求めいただけます。

『松下幸之助 「最後の言葉」』
秋葉賢也著(角川SSC新書)定価760円

増田寛也元総務大臣推薦! 厚生労働副大臣が斬る! 「医療・介護・年金」問題の核心を握る巨大省庁の深層。東北からニッポンの未来を考える

『厚生労働省 改造論』 (イースト新書)
全国書店にて好評発売中

～ kenya's PLOFILE ～

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ。寅年・蟹座・A型。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒業(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(3期)、総務大臣政務官、厚生労働副大臣および復興副大臣、東日本大震災復興特別委員長を務める。現在、衆議院議員(5期目)、外務委員会理事、震災復興委員。
- 母校の中央大学商議員や保護司も務める。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 特技:書道二段・空手初段。 ● 趣味:ジョギング・音楽・映画。
- 尊敬する人:マザーテレサ、松下幸之助。

秋葉賢也 事務所
www.akiba21.net

仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

購読料 年額10,000円
編集 株式会社アクトジャパン